



## 「おなら」をおふろの中なかですでると、どうしてあわでが出るのの

### 「おなら」の大部分だいぶぶんは飲みのこんだくうき空気

わたしたちは、食べ物たものを食べるとき、空気くうきもいっしょのに飲みこんでいます。

おならの大部分だいぶぶんは、わたしたちが飲みこんだ空気くうきで、おならの体積たいせきの80パーセント以上いじょうが、空気くうきだといわれています。そして、残りのこはおなかなかの中の腸ちようでつくられたガスなのです。そのため、おならをおふろの中なかですでると、空気くうきやガスながあわでになって出でるのです。

### おなかなかの中でガスながつくられるのは

おなかの中なかの大腸だいちょうには、たいてい、いつも150～200ミリリットル（コップ1ぱいくらい）の空気くうきやガスながつまっていて、それらが大腸だいちょうの中なかのものを、前まえに送おくるのを助たすけています。このガスなは、大腸だいちょうの中なかの食べ物たもののかすでから出でています。

大腸だいちょうの中なかには、大腸菌だいちょうきんという細菌さいきん（目めでは見みることができないちいいいもの）がたくさんいて、野菜やさいなどをくこまこまかくして消化しょうかしやすくしてありますが、そのときガスなが出でます。その空気くうきやガスなのうち、85パーセントは腸ちようで吸収きゆうしゅうされ、残りのこがおならなになって出でるのです。（監修・保志 宏）

